

事務事業チェックシート

事務事業No 686 事業名 市民文化まつり開催交付金事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
事項		市民文化まつり開催交付金事業		

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	2	芸術・文化の振興
基本方針	1	芸術・文化活動への支援

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	高松 通博(435-1194)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容								
事業概要	各種文化を育成するとともに各団体の輪を広げるために各団体を育成する。		各種文化団体による舞台芸術の発表及び一般市民への芸術鑑賞の場を提供する。 交付先 市民文化まつり実行委員会 会長 上田 隆一 和歌山市民会館他 年間21回（舞踊・コーラス・民謡・オペラ等）							
実施内容	平成25年度 市民会館ほかにおいて通年開催 参加団体20団体		平成26年度 市民会館ほかにおいて通年開催 参加団体21団体		平成27年度 市民会館ほかにおいて通年開催 参加団体20団体		平成28年度 市民会館ほかにおいて通年開催 参加団体21団体		平成29年度	

2 事業コスト

事業費等 千円			平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
	事業費		900	850	900	900	900	850	900	900		900
	伸び率 (%)		-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
	人件費	常勤職員	708	733	729	715	801	861	861	861		861
		非常勤職員	81	101	101	94	94	105	105	105		105
		小計	789	834	830	709	895	966	966	966		966
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源（税等）		900	850	900	900	900	850	900	900		900	
所要人数	常勤職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11		0.11	
	非常勤職員	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05		0.05	
主な予算内訳		負担金、補助及び交付金 900千円										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	会議出席回数					年度目標値	2	2	2	2
						実績値	2	2	2	
	単位	回	全体目標値	10	全体目標達成度	60.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
							年度目標値	21	21	21
参加団体数					実績値	20	21	20		
	単位	団体	全体目標値	105	全体目標達成度	58.1%	年度別達成度	95.2%	100.0%	95.2%
成果指標	参加人数					年度目標値	2,800	2,800	2,800	2,800
						実績値	2,585	3,435	2,689	
	単位	人	全体目標値	14,000	全体目標達成度	62.2%	年度別達成度	92.3%	122.7%	96.0%
							年度目標値	20,000	20,000	20,000
延べ入場者数					実績値	12,568	14,756	10,776		
	単位	人	全体目標値	100,000	全体目標達成度	38.1%	年度別達成度	62.8%	73.0%	53.9%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	イベント参加人数も毎年、目標を超えており適正な補助金額（増額）を検討する。
「見直し」 「改善」案	適正な補助金額を検討する。